

エフェソの魔術師

シリーズ・パウロ
第25回

使徒言行録19章11～20節

神は、パウロの手を通して目覚ましい奇跡を行われた。彼が身に着けていた手ぬぐいや前掛けを持って行って病人に当てると、病気はいやされ、悪霊どもも出て行くほどであった。

ところが、各地を巡り歩くユダヤ人の祈禱師たちの中にも、悪霊どもに取りつかれている人々に向かい、試みに、主イエスの名を唱えて、「パウロが宣べ伝えているイエスによって、お前たちに命じる」と言う者があった。ユダヤ人の祭司長スケワという者の七人の息子たちがこんなことをしていた。

悪霊は彼らに言い返した。「イエスのことは知っている。パウロのこともよく知っている。だが、いったいお前たちは何者だ。」そして、悪霊に取りつかれている男が、この祈禱師たちに飛びかかって押さえつけ、ひどい目に遭わせたので、彼らは裸にされ、傷つけられて、その家から逃げ出した。

このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名は大いにあがめられるようになった。信仰に入った大勢の人が来て、自分たちの悪行をはっきり告白した。また、魔術を行っていた多くの者も、その書物を持って来て、皆の前で焼き捨てた。その値段を見積もってみると、銀貨五万枚にもなった。このようにして、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった。



エフェソでの出来事

- 神がパウロによって驚くべき奇跡を行われた
- ユダヤ人の祈禱師たちがそれを見て、同じように悪霊を追い出そうとした
 - 「パウロが宣べ伝えているイエスによって...」
- 逆に悪霊にひどい目にあわされた
 - 「イエスもパウロも知っているがお前たちは何者だ」
- そのことがエフェソ中に知れ渡り、主イエスの名はあがめられ多くの人が信じた

霊について

- 悪霊

- ・ サタン(悪魔)の手下で、様々な方法で人を苦しめる

- 人間の霊

- ・ 人間は神から賜った霊によって生かされている

- 聖霊

- ・ 三位一体の神の一人。イエス・キリストを信じる者のうちに住まわれる

霊についての間違った考え

- 「死者の霊」がこの世に存在している
 - 行ったり来たりしている
 - 不幸な死に方をした人の霊が化けて出たり, 祟ったり, 呪ったりする
- 「輪廻転生」が起こっている
 - 生まれ変わるたびにいろんな生き物になる
- 霊が見えたり, 会話できたりする

霊に負けない

- 「“霊”（聖霊）は次のように明確に告げておられます。終わりの時には、惑わす霊と、悪霊どもの教えとに心を奪われ、信仰から脱落する者がいます。」 <1テモテ4:1>
- 「終わりの時」には霊の教えがはびこる
- 「霊」についての間違った教えや噂に振り回されてはいけない

一番恐ろしいのは人間

- エフェソの魔術師は「霊」を使って商売していた
- パウロの伝えていたイエスの名が効き目があると知ると、直ぐに使って失敗した
- 悪霊は神の霊と神の霊に守られた人を知り、恐れている
- 恐ろしいのは悪霊ではなく、悪霊さえ利用して金儲けをする人間である

聖霊に住んでいただく

- 「あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。」 <1コリント3:16>
- イエス・キリストを信じる者のうちには「神の霊」(聖霊)が住んで下さる
 - 聖霊を悲しませてはならない
- 何者をも恐れず、動じない姿勢がイエス・キリストによって救われている証拠である